

令和3年度 江戸川区立一之江小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	○進んで学習する子 ◎思いやりのある子 ○明るく元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・安全で美しい学校 ・子供を大事にする学校 ・学ぶ喜びを知る学校 ・開かれた学校 ・主体的に学び正しく判断し行動できる子 ・相手の立場や気持ちを考えて行動できる子 ・健康で活力のある生活を送ることができる子 ・温かさや厳しさをもった教師 ・豊かな感性を持った教師 ・専門性をもった教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>「あいさつ・返事・後始末」を重点目標として全校体制で取り組み、児童の意識化を図った。新しい時代の教育に対応できるようプログラミング教育を学校全体で取り組み授業改善に努めた。 <課題>学力調査等の分析から、基本的な学力の定着を図るためのいっそうの取組が必要である。そのため、毎時間の授業を大切にするとともに、学習の習慣化を図るため家庭との連携を深めていく必要がある。今年度は全校でGIGAスクール構想に則った教育を推進し、一人一台タブレットの授業での効果的な活用を進めていく。		

教育委員会 重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた 改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ 学校づくり	「確かな学力」の 育成	・基礎的・基本的な学力の力の向上を目指す。そのために、全学級で「一之江学び方スタンダード」に基づいた指導を行い、学びの環境を整える。また、習得の時間として毎日10分の「一之江タイム」を実施する。 ・授業では、毎時間、目標提示と振り返りを実施し、児童が学びを実感できるようにしていく。 ・GIGAスクール構想に則った一人一台端末の効果的な活用及び授業改善(個別的な視点、協働的な視点)を図る。 ・毎日、家庭学習の課題を提示(学年×10分+10分)し、家庭と連携して学びの習慣化を促進する。	・「一之江学び方スタンダード」 ・「一之江タイム」 ・ICTを活用した授業 ・一人一台タブレットを活用した授業 ・毎日の宿題と提出物の確認	・「基礎・基本の定着」 ・「学習に意欲的」 ・「指導体制の工夫」 ・「家庭学習の習慣化」 それぞれ肯定的意見80%以上	A	A	・学び方スタンダードの取組を年度当初から年間を通して、全校体制で確実に実施した。児童も教員も毎月振り返りを実施し改善につなげた。 ・2学期からは帯時間で一之江タイムを実施し、習熟の時間を確保した。 ・毎日、課題を提示し、翌日担任が確実に確認した。 ・教員も児童も、タブレットを活用した授業が定着し、その取組は、区内でも紹介された。 ・オンライン授業を8月、9月、1月、2月に実施した。	A	・先生方がよく頑張っている。 ・具体的なアクションが見えていてよい。 ・一之江タイムを継続して子供たちの力を伸ばしてほしい。 ・家庭の協力が必要。 ・今後の成果に期待する。	○家庭と連携した学習の推進を図る ○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・「一之江学び方スタンダード」 ・「一之江タイム」 ・ICTを効果的に活用した授業改善、一人一台タブレットの一層の活用 ・オンラインの効果的な指導の研究
	「豊かな人間性」の 育成	・全職員で「一之江学び方スタンダード」の指導の徹底に取り組む。毎月、児童・教員の自己評価を実施し、自らの取組の振り返りを行い定着を図る。 ・挨拶あふれる学校を目指し、日常指導の徹底、全員が交代で行う朝の挨拶隊の取組の実施、家庭と連携した意識の啓発を推進する。 ・児童と教員の心の触れ合いを大切にする取組の一つとして、毎朝、担任が教室で児童の迎え入れを実施する。 ・道徳教育の充実、情報モラル教育の実施等を通して、人と上手にかかわるための基盤を整える教育を推進していく。 ・いじめに関するアンケートの実施と校内委員会を通した組織的な対応を実施する。 ・児童主体の取組として、児童会を中心に、タブレットの適切な使い方や挨拶の促進の取組み等を行っていく ・スクールカウンセラーとの連携を深め、教育相談の充実を図る。	・「一之江学び方スタンダード」 ・一人一台タブレットの使い方の指導 ・挨拶指導の徹底 児童主体の取組の促進 情報モラル教育の推進 「学校ルール」「家庭ルール」 「児童会によるビデオ作成」 ・縦割り班活動 ・登校班活動 ・教室で担任による毎朝の児童の迎え入れ	・「学校の決まりを守る」 ・「学習規律の定着」 ・「進んで挨拶」 ・「学校が楽しい」 ・「いじめに対する適切な指導」 ・「先生に相談しやすい」 それぞれ肯定的意見80%以上	A	B	・学び方スタンダードの取組を年度当初から年間を通して全校体制で実施したことが、学習規律の向上に結びついてきた。 ・挨拶については子供たちの意識の向上が見られ、気持ちのよい挨拶ができる子供が増えてきた。校外から訪問された方からも、お褒めの言葉をいただいた。 ・毎朝、担任が子供たち一人一人に声をかけ、様子の把握に努め一日の指導に生かした。	A	・挨拶ができる子供が増えていくと 感じる。 ・挨拶指導を通して心の豊かさを育んでほしい。 ・進んで挨拶ができるよう一層の指導を期待する。 ・学校が楽しいという子供をさらに増やしてほしい。	○相談しやすい体制の一層の充実を図る。 ○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・「一之江小学び方スタンダード」 ・挨拶指導 ・教室の迎え入れ ・情報モラル教育 ・縦割り班活動 ・登校班活動

「健やかな体」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上の視点に立った体育科の授業改善を図る。そのために、体力テストを活用し、個々の目標設定と振り返りを行う。 ・短縄・長縄やマラソン等の取組を通して体力の向上への意識を高める。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子供たちが安全・安心に学習できる教育環境を整える。 ・生活習慣改善を目指し、アンケート等を活用した家庭との連携を推進していく。 ・給食指導を中心に食に対する理解や栄養バランスについて考えるなど食育の一層の充実を図る ・GIGAスクールの時代に即した情報モラル教育の充実を図る ・登校班指導や地域安全マップ作り等を通して安全への意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力テスト」を活用した目標設定と振り返り ・大縄、短縄の取組 ・新型コロナウイルスの感染防止のための毎日の検温、健康状態の確実な確認の実施 ・生活習慣アンケートの実施 ・「給食室からのお手紙」を毎回発行し、食に関する興味関心や理解を深める取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力向上に向けた取組」 ・「生活習慣の向上」 ・「安全に配慮した教育」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストを前年度の自分の記録と比較して目標を定め、自己の向上を目指して期間を広げて取り組んだ。 ・健康記録カードを保護者の協力を得て取り組み、コロナ感染の防止につなげた。 ・給食では、郷土料理や世界の食事、SDGs、児童考案の献立などを工夫して実施し、食に関する興味と理解が深まった。 ・パラリンピックに関わる学習、掲示を工夫し理解を深める取組を進めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で工夫して取り組んでいると思う。 ・体力テストの工夫は続けてほしい。 ・土日に体力づくりを行う課題があってもよいかもしれない。 <p>○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・体育授業における運動量の確保 ・保護者の協力のもと、健康観察の確実な実施 ・食育指導の充実</p>
「開かれた学校」の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの充実、一斉メールを活用した迅速な情報発信、各種たよりの充実を推進する。また、年2回、学校評価を実施し、学校の取組の理解促進を図るとともに、教育改善につなげる。 ・各行事実施後はアンケートを実施し、意見の集約と改善に努める。 ・オンラインの効果的活用を図る(授業参観、保護者会、コロナ禍における緊急対応等) ・PTAとの情報交換を密に行うとともに、見守り活動等、様々な視点から子供たちを支えるための連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの随時更新 ・一斉メールによる迅速な情報提供 ・オンライン・アンケートの実施と速やかな改善策の提示 ・PTAとの連携、見守り運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームページ、メール等の発信」 ・「意見・要望を生かしている」 ・「行事、保護者会等の参加」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの随時更新、一斉メール等による迅速な情報発信を行った。 ・ICTを活用し保護者アンケートを7月と12月の2回実施し、保護者の意見を受け止めるとともに、学校の取組の理解を促し、改善策を提示することによって、共に子供を育てる意識の共有化と信頼関係の構築を図った。 ・PTAとは毎月役員会を開き情報交換を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・できることを工夫してやっていたり、そんな取り組みがとても良い。 ・メールの随時発信など努力が見られる。 ・学校ホームページを上手に活用して情報発信ができています。 <p>○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・ホームページの随時更新、一斉メールによる迅速な情報提供 ・オンラインアンケートの効果的活用 ・いっそうのPTAとの連携</p>
読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、本に親しむ機会を確保するとともに、図書室の環境整備や、互いに紹介し合う学習等を通して、読書への興味・関心を高める取組を実施する。(読書紹介、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・総合的な学習の時間等と関連付けながら、調べ学習の過程で図書等を活用し、自らの課題解決を進め、まとめたり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施 ・読書感想文の指導 ・ボランティアの協力による学校図書館の環境整備 ・読書紹介カードの作成・発表 ・総合的な学習の時間等と関連付けた図書活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「積極的に取り組んでいる」 ・「環境が整っている」 ・「進んで本を読んでいる」 <p>それぞれ肯定的意見80%以上</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「積極的に取り組んでいる」 ・肯定的な評価が80%を超えた。 ・「環境が整っている」 ・保護者ボランティアの協力でラベル整理を行ったが、他区に比べバーコード等の環境整備が遅れている。 ・「進んで本を読んでいる」 ・家庭で本に触れる機会が少ないのが実態調査から明らかになった。総合的な学習の時間や学級活動等で図書を活用するなど、触れる機会を増やした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本読み隊などの保護者のボランティア活動等がよくなってきている。 ・好きな本を選べる環境を整えてほしい。 ・映像漬けから読書につなげてほしい <p>○読書活動への家庭の理解を促進する ○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・朝読書の充実 ・図書室の環境整備 ・読書月間の取組の充実 ・総合的な学習の時間と関連付けた活用</p>
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校としての組織的な対応を基盤とし、迅速な対応、定期的な情報共有の場の設定、関係機関との連携を重視して対応に当たる。 ・スクールカウンセラーとの連携を重視し、児童の相談、保護者の面談、適切な対応の助言など協力体制を確立するとともに、児童相談所等、関係機関との連携も重視していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の連絡会 ・毎月のいじめ対策委員会 ・スクールカウンセラーによる児童、保護者相談 ・教育委員会、児童相談所等、関係機関との連携 ・バラスポーツへの理解促進 	「健やかな体」の育成の項目と関連付けて評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のいじめ対策委員会には、スクールカウンセラーも参加し、情報共有と解決策について検討した。 ・児童相談所等、関係機関と連携し、課題解決に当たった。 ・バラスポーツへの理解を深める学習を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童への配慮がされていると感じる。 ・今後もいじめへの迅速な対応をお願いしたい。 ・バラスポーツへの取組みは良いと思う。 <p>○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・組織的対応の充実 ・様々なアプローチの検討。巡回拠点校、保護者との連携促進。 ・関係機関との一層の連携促進</p>
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に即した教育の実現のため、ICTを活用した授業改善を全教員の研究のテーマとして掲げ、日々の授業の中から実践を進める。 ・若手教員研修を実施し、経験の浅い教員の授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを効果的に活用した授業の実施 ・デジタル教科書の活用 ・オンライン授業の実施 ・講師を招聘した研究授業(年6回) ・若手教員研修の実施 	「確かな学力」の育成の項目と関連付けて評価	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる授業配信を実施(入学式、全校朝会、授業公開、保護者会、授業と並行したオンライン授業配信、メールを活用した避難訓練等) ・タブレットを活用した授業の日常化 ・若手とベテランによる授業力向上研修の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがよく頑張っている。 ・タブレット活用等積極的に行っていてよい。他校より進んでいる。 ・オンラインの活用が図られていてよい。 <p>○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・ICTを効果的に活用した授業、行事、学校運営 ・教員が相互に研鑽する体制づくり</p>
特色ある教育の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人との関わりを大切に教育の充実を図る。そのために、異学年による登校班や縦割り班活動、6年生と1年生の関わり等を大切に教育を実施する。 ・児童会による児童主体の取組みや、アサーション等の手法を取り入れ、人とよりよく関わるためのすべを身に付ける教育についても実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校班活動 ・縦割り班活動 ・6年生と1年生の関わり ・アサーション等の手法の実施 ・ポッチャを通した、人と人のかかわりを深める学習、バラスポーツへの理解 	「健やかな人間性の育成」の項目と関連付けて評価	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・登校班、縦割り班の活動を通して、高学年児童の意識が向上した。また、学校としての仲間意識が高まった。 ・外部講師を招聘したポッチャ体験を実施し、人との関わりについて理解を深めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き思いやりのある子の育成に努めてほしい。 ・きめ細かく対応できていると感じる。 ・コロナの中での難しい対応であるが頑張っている。 <p>○以下の項目は、継続的に確実に実施 ・登校班 ・縦割り班 ・6年生と1年生の関わり ・バラスポーツ理解</p>